

支援プログラム

作成日

2025年2月

事業所名	心身障害児総合医療療育センター		
法人理念	わたしたちがご利用の方々が健康で明るい生活が送れるように全力を尽くします。		
支援方針	集団活動の中でそれぞれの在り方を大切にしながら、人やものに関わる力を育み、周りの世界に働きかけ、思いを表現することを大切にします。		
営業時間	9時00分～17時15分	送迎実施の有無	なし
項目	ねらい	活動内容（プログラム） 関わりの方針	
からだの動き・姿勢・感覚 領域：「運動・感覚」	<p><体の動きや感覚を育てる> 重力、感覚刺激などを感じられる活動や遊びの中で、基本的な動作獲得に役立つ姿勢（腹臥位で頭をあげる、寝返り、坐位保持）、バランスの獲得、豊富な感覚体験（触覚、視覚聴覚、体性感覚）を伴う全身的な運動を経験していきます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 大型遊具や乗りものに乗って遊ぶ 揺れ、振動を感じられる遊び <p>ブランコ、トランポリン、すべり台 サイバーホイール、乗りもの</p>	
ものや環境とのかかわり 領域：「運動・感覚」 「しるわかること・かかわり」	<p><かかわる力を育てる しる・わかる経験> 働きかけるとものや環境が変わり、変化に誘われてまた働きかけたいという気持ちを育てます。かかわる-反応に気づく経験の中で、体や手を動かし様々な感覚を感じて、自身のからだや力、ものや環境をしることを育てます。周囲を動かす変える力があることを実感しながら、周囲にかかわり、きづく、しる、わかる経験をしていきます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 季節のテーマに沿った制作活動 手先を使う、道具を使う経験 感触あそび つち、まめ、布、スライム、水遊び等 楽器遊び 	
人とのつながり かかわり 領域：「ひととのつながり・すごしかた」	<p><人とのつながりを豊かに 人とのすごしかたのひろがり > 近くの人を感じることで、それぞれのペースで人とのつながりを豊かにしていきます。 じぶんらしくすごすこと、人とともにすごすこと、人とのすごしをたのしみにするなど、人とのすごしかたをひろげ豊かにしていきます。</p>	<p>活動の中で一人一人の参加の仕方を大切にしながら、周りの大人や子どもにかかわる・かかわられる経験をする友だちがすることを見る、一緒に活動する経験、相互にやり取りをする経験を積み重ねる</p>	
気持ちにきづく 気持ちや思いの表現 領域：「やりとり・ひょうげん」	<p><気持ちに気づくこと・表現を育てる> 自分の気持ちへの気づきを豊かにし、思いを表現すること、表現のしかたをひろげていきます。</p>	<p>バイタル、身体の動き、表情などを読み取って要求や思いを理解する スタッフが思いや伝えたいことをくみ取って代弁、言語化して周囲に伝える 発信されたことを受け止めことばにして周りにつなげる</p>	
健康面 領域：「健康・生活」	<p><活動を支える健康管理> 活動を充実させるために健康状態の確認を行い、健康状態の維持や改善を行います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 登園時の健康確認 車椅子やバギーからの移乗時に体調の確認 朝の体操 体を動かしながら身体の様子も確認 必要に応じた医療的ケアを行う 	
家族支援	ご家族の状況や必要に応じて適宜相談を実施	移行支援	他の事業所との引き継ぎ、就学児の学校見学同行・引き継ぎ
地域支援・地域連携	他の事業所との連携、区内発達ネット・事業所連携会議参加	職員の質の向上	部門での勉強会実施 療育センター内・外での研修参加 施設見学
主な行事等	園外活動、夏祭り、運動会（コロナ等の感染症の状況に応じて実施、休止をしています）		